

令和8年度村山市農林業の方向性

■現状と課題

村山市では、令和元年度から村山市総合計画において、本市農林業の方向性を定め、国や県と連携しながら農業施策を展開しています。内容については、総合計画の見直し時期に合わせ5年毎に精査しています。

本市の農林業は、農林業従事者の減少が進み、耕作放棄地等の発生、手入れ不足による森林環境の悪化など、多くの課題を抱えています。令和8年度は、世界情勢の不安定化で肥料や飼料、燃料等の高騰、米価の急激な変動など、持続可能な農業の実現に向けた対応が求められています。

対策としては、新規就農者などの確保・育成、複合経営による農業経営体の生産力や経営力の向上、地域計画による農地の集約化、スマート農業の取組推進、重点作物の産地化や所得向上に向けた様々な支援の実施、6次産業化による付加価値の創出など、所得の増大につなげていくことが急務となっています。特に重点作物については、目標値をクリアできるよう継続して品目を強力に支援し、所得向上を目指す必要があります。

そこで、第6次村山市総合計画に合わせ、本市の特色や地域性を考慮し、将来の農業の目指すべき姿を明らかにして、その実現に向けた施策を計画的に取り組めるよう、令和11年度を目標年度とした「村山市農林業の方向性」を策定しました。

■方向性

本市農林業の現状や課題をふまえ、「目指すべき姿」に向かい4つの方向性毎に目標を定め、具体的な施策を実施します。

方向性1 「人・組織づくり」…多様な人材の確保・育成、経営力の向上

- ◆新規就農者の確保・育成 ◆営農に関わる多様な人材の確保
- ◆強い経営体の育成 ◆集落を支える組織強化

方向性2 「産地づくり」…複合経営の推進、生産力の向上

- ◆重点作物の産地化の推進 ◆園芸作物の振興
- ◆畜産業の振興 ◆森林資源の有効活用

方向性3 「環境づくり」…農林業を営む環境整備の推進

- ◆農業を営む基盤整備の推進 ◆目標地図の調整
- ◆鳥獣被害防止対策の推進 ◆持続可能な農業の推進
- ◆スマート農業の取組の推進 ◆森林整備の推進

方向性4 「交流づくり」…異業種連携の推進、販路・消費の拡大

- ◆6次産業化や異業種連携による付加価値創出 ◆販路・消費の拡大
- ◆アグリランドむらやま事業の推進 ◆特産物の利用や食育の推進

上位成果目標（農林業産出額）：102.5億円（令和11年度目標値）

方向性1 「人・組織づくり」	基準値 R5年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度
トップランナー数	137人	128人	130人
農業法人数	21法人	37法人	40法人
認定新規就農者数	33人	44人	58人
中山間地域等直接支払取組面積	128ha	116ha	128ha
多面的機能支払取組面積	2,428ha	2,328ha	2,428ha

方向性2 「産地づくり」	基準値 R5年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度
重点作物サクラホホ 10aあたり産出額	153万円	176万円	197万円
重点作物トト 10aあたり産出額	61万円	168万円	119万円
重点作物スルメ 10aあたり産出額	81万円	114万円	115万円
重点作物トマト 10aあたり産出額	280万円	484万円	293万円
大規模園芸団地数	1団地	1団地	2団地
森林環境譲与税を活用した利用間伐面積	7.29ha/年	3.03ha/年	15.0ha/5年

方向性3 「環境づくり」	基準値 R5年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度
大区画水田面積	337.1ha	415.9ha	449.5ha
田んぼダム取組面積	42.7ha	127.3ha	130.6ha
目標地図完成面積	1,715.7ha (R6)	1,731.1ha	1,842.4ha
鳥獣対策用電気柵延長累計	18.8km	22.7km	21.3km
環境保全型農業直接支払取組面積	10.07ha	7.26ha	12.00ha

方向性4 「交流づくり」	基準値 R5年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度
6次産業化支援事業費補助金利用件数（延べ）	2件/年度	3件/年度	20件/5年
6次産業化支援事業による新製品（商品）開発件数	5件/年度	4件/年度	2件/年度
産地直売所販売額	8,800万円	8,515万円	9,300万円
天然ジュンサイ収穫量	1,800kg	1.680kg	2,300kg
「アグリランドむらやま」事業体験者数	2,300人	2,294人	2,800人
学校給食における県産農産物等利用率	46.50%	32.70%	50.00%

《目指すべき姿》
「魅力的な農林業」と「農業所得の向上」